

乾燥地の植物とその利用 (3)

今回は扇状地とその周辺の主な植生に注目してみます。扇状地は扇頂、扇央、扇端と分けられる訳だが、Al Ain 周辺では扇頂、扇央のほとんどはオマーン領内で扇端部がUAE領内にかけて広がっている。



Al Ain 周辺の扇状地（扇端、Al Oha 地区）

扇状地の表層は礫で覆われ山側ほど礫が大きい。扇央部での礫層の厚さは数メートルあるが、水質は1,000ppm以下と非常に良く生活用水、農業用水として利用されており、また Al Ain 周辺のカナートの水源の全てはこの扇央部に位置している。扇端部の土壌は比較的細かく、砂丘がその上を被るようになる。扇頂部の植生は前号の山地部の植生に似ているが、扇央部では *Rhazya stricta*、*Acacia tortilis* 等が生育し、扇端部にいくほど *Hamada elegans* や *Prosopis cineraria* などが優勢を示すようになる。

1) *Rhazya stricta*



特徴：インド北西部からイラン、アラビア半島まで分布している。幅2~3cm、長さ5~10cm程度の長い葉をつけ、2月から6月頃に花をつける。

生育条件：礫原などで多く見られ耐乾性は強い。しかし、耐塩性は低く2,500ppm以下では発芽率が急激に落ちる。



用途：昔から非常に有用な薬用植物として利用され、消化不良、腹痛、出産後の腹痛、眼病などの治癒、かゆみ止めなど広い分野に用いられていた。

2) *Prosopis cineraria*



特徴：インドの乾燥地、パキスタンからアラビア半島に分布。葉は複葉で、刺がある。根は直根で土壌深くまで入る。

生育条件：耐乾性が強く100mm程度の降雨でも育つ。また、温度の適応性もよく-6~50℃まで耐えられる。沖積土や砂質土を好む。アルカリ土にも強い。

用途：熱量の高い燃料木(5,000kcal/kg)、新芽は飼料価値が高い。家具用、木材、ポート枠などにも利用される。
その他：土壌の安定のため、植林用樹木として広く利用されている。

